

大会名 Competition	第47回東北中学バスケットボール大会 【男子予選リーグ】
NO. B-6	Year Month Day Time 2017 年 8 月 9 日 16 : 05
場所 Place	CNAアリーナ★あきた

秋田県中学校体育連盟  
秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB
東北学院	( 13 1st 9 )	本荘北
65	( 19 2nd 13 )	43
○	( 17 3rd 14 )	●
	( 16 4th 7 )	
	( - OT - )	

主審:Referee  
三河不二夫 岩手県  
副審:Umpire  
平野誠一 福島県  
テーブルオフィシャル:Table officials  
秋田市立秋田南中学校・飯島中学校

No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	中村 尽生	CAP	8	0	3	2	2	4	×	渡部 駿也	CAP	16	2	4	2	3
5	/	遠藤 昌輝		12	1	4	1	1	5	×	落合 和希		10	0	5	0	0
6	×	山崎 紀人		14	0	6	2	1	6	×	富樫 夢叶		6	0	3	0	3
7	×	齋 達也		11	3	1	0	2	7	×	後藤 洋介		1	0	0	1	0
8	×	佐々木 雄大		2	0	1	0	0	8	/	梶原 青空		0	0	0	0	0
9	×	佐藤 友哉		8	2	1	0	0	9	/	遠藤 凌太		0	0	0	0	0
10	/	尾上 祐樹		2	0	1	0	0	10	/	佐々木 隆弥		0	0	0	0	0
11	/	鈴木 涼太		4	0	2	0	0	11	/	今野 瑛斗		0	0	0	0	0
12	/	三浦 那一己		0	0	0	0	1	12		荒関 文司		-	-	-	-	-
13	/	佐々木 琉		0	0	0	0	1	13		石川 楽人		-	-	-	-	-
14	/	丹野 暉也		2	0	1	0	0	14		小松 汰良		-	-	-	-	-
15	/	西村 刀麻		2	0	1	0	0	15	×	木村 胡伯		10	0	5	0	0
16	/	澁谷 遼佑		0	0	0	0	0	16		小濱 銀		-	-	-	-	-
17	/	児玉 響真		0	0	0	0	0	17		伊藤 卓		-	-	-	-	-
18	/	五十嵐 怜汰		0	0	0	0	0	18		大場 隆輝		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
監督		須田 圭紀							監督		石川 智樹						
コーチ		高橋 学							コーチ		白瀬 孝昭						
合計				65	6	21	5	8	合計				43	2	17	3	6

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Qは両者ともハーフコートマンツーマンDefでスタートする。東北学院は#6山崎のゴール下のシュートや#7齋の3P、#4中村のドライブインシュートなどで13-5と順調なすべり出しを切る。一方、本荘北は#4渡部や#5落合、#6富樫のシュートで応戦する。両チームとも思うように得点を伸ばすことができず、第1Qは東北学院13-9本荘北で終了。

第2Qは、東北学院が積極的にドライブインシュートを試み、#5遠藤、#7齋、#4中村が連続得点をあげる。本荘北は#4渡部の3P、#6富樫のジャンプシュートで得点する。東北学院は1対1を中心とした攻撃、本荘北はすばやいパス回しからアウトナンバーを作り得点する展開を繰り広げる。終始東北学院がリードしたまま進行する中、残り4分を切ったところで本荘北#15木村が3連続でゴールで追撃する。しかし、東北学院は#7齋、#4中村が落ち着いて得点を重ね、東北学院32-22本荘北の10点差で前半を折り返す。

第3Qの立ち上がりでは、本荘北が得点差を縮めようと激しいディフェンスを試みる。インターセプトからの速攻やゴール下のシュートなどで#15木村が得点する。本荘北の激しいディフェンスに対して、東北学院#6山崎はインサイドで次々と得点を重ねる。両者それぞれの持ち味を生かした攻防が続き、東北学院49-35本荘北で第3Qを終了。

第4Qに入り、本荘北は14点差を縮めようと攻守の展開を速くしようと試みるが、東北学院は本荘北の攻守を巧みにかわし、展開を有利に持ち込む。落ち着いて攻守に徹する東北学院に対して、焦りからミスを連発する本荘北と明暗を分ける。結局、東北学院65-43本荘北で、堅いディフェンスと確実にシュートを決めた東北学院が勝利した。敗れはしたものの、スピード感あふれるプレーをした本荘北の姿勢は中学生らしく好感のもてるものであった。

文責 【 須田 清樹 】